



TOP MESSAGE

GM通信 これから様々な行事が開催されます

9月になったというのに暑い日が続いています。年々秋が短くなっていることを実感します。日本の美しい四季がなくなってしまうのではないかと不安にもなります。

さて、今回は最近よく論じられ、その重要性が認められてきている非認知能力について書こうと思います。

認知能力とはIQ（知能指数）や学力テスト、計算力などの数値化できる能力のことです。知識、技能、思考力、判断力、表現力、記憶力、計算力などがこれに該当すると文部科学省の学習指導要領にも記載されています。これまでの受験戦争はこれらの能力の習熟度を競うことに終始してきました。なぜなら認知能力は数値化可能で他者との比較が容易にできるからです。ですから受験生は知識を詰め込み、回答パターンを覚えるということに粉骨砕身して来たのです。私が受験生だった時代もそうでした。とにかく知識を詰め込みました。英単語や英熟語を、日本史の年代や事象を暗記することに相当の時間を使いました。

今の時代こんなことはAIに聞けばすぐに分かります。近い将来、同時通訳の機器も進歩しどんな言語を使う民族とのコミュニケーションも容易になるのではと想像できます。今やAIは東京大学の理科3類に合格できるレベルにまで進化しているそうです。

AIに使われるのではなく、AIを凌駕し使いこなすためにも重要視されてきているのが非認知能力です。具体的には意欲、忍耐力、自信、協調性、共感性、自己肯定感、自制心、コミュニケーション能力等数値化が難しい心の働きや社会性に関わる能力です。数値化できない能力が非認知能力です。

「知識」「思考」といった知的側面が認知能力であり、「意欲」「社会性」といった心の側面が非認知能力ということになるのでしょうか。数値化できないので評価する側にとって難しいエリアなのだと思います。

バディグローバルスクールはこの非認知能力を伸ばし、AI全盛の時代を生き抜く力を身に着けることに主眼を置いています。スポーツは粘り強さ、やり抜く力、協調性、自制心等を育みます。チームスポーツではコミュニケーション能力も培われます。自然科学及び農業実習は好奇心を育ててくれます。ただ非認知能力だけではバランスの取れた大人にはなれません。英語、IT、金融、国語、算数、そろばんを通じて認知能力の向上にも力を入れています。

これまでの日本の教育は専ら認知能力を伸ばすことに注力して来ました。非認知能力の活性化は専らクラブ活動に任されていたと言ってもいいのではないのでしょうか。諸外国の例を見ると、クラブ活動はあくまでもスキルアップの場です。これに対して日本における「部活」は非認知能力を活性化してくれる役割も負っているのです。中学校の部活が存続の危機に瀕していると言われてから相当の時間が経っています。バディでもこの問題に取り組んでいます。国全体で取り組むべき課題です。本当に由々しき事態です。

非認知能力を活性化し、伸ばしていくためには子供たちにどのような環境を与えるべきなのでしょうか。それは「失敗を恐れずに安心できる環境」であり、「自分から進んで挑戦できる環境」であり、「対話を通じて表現力を育む環境」だと思います。これを決して忘れてはいけないと思います。

非認知能力の中で私が特に重要だと考えているのが「自己肯定感」の醸成です。ありのままの自分を受け入れ、自信を持って主張できる力は社会を生き抜く上で非常に重要です。自己肯定感の高い人は物事を肯定的に見ることができ、自信を持って主体的に行動できます。こういう人は自分の弱みを素直に認め、相手の意見を尊重できる強さも手に入れることができるのです。

先に同時通訳機器が進歩し、どこの国の人とも会話ができるような時が来ると書きましたが、これでは日本人の得意な行間を読むとか余白を読むという能力は育めません。だからこそ読書をする習慣を身に付けて欲しいです。読書は認知能力、非認知能力両方の強化に非常に重要な役割があると思っています。

先日、本田圭佑さんがバディを訪れたそうです。残念ながら私はその場にはいなかったので会うことができませんでした。彼と初めて会ったのはもう10年以上前のことです。知り合って間もなく、本田さんがロシアのチームを離れてフリーになったタイミングでブラジルでのワールドカップを迎えようとしていました。そんな折、彼から連絡がありました。練習する場所と機会がないので、羽生さんのところで練習させてもらえないかと。もちろん受け入れました。日本代表が勝つためには彼の力がどうしても必要だと思ったからです。彼は約1か月間練習参加したのですが、その間若い選手を中心に、世界で戦うこと、勝負に勝つということ、そのために日々の練習から高い意識を持つこと等多くの大切なことをチームや若い選手に残してくれました。ブラジルワールドカップ終了後、本田さんはイタリアの名門ACミランと契約しました。私がヨーロッパに出張した時にミラノに行き、試合を観戦させてもらいました。試合後彼と食事したのですが、その時にサッカーの話はほとんどせず、ビジネスの話ばかりをしたことを覚えています。当時から引退後の準備をしていたのですね。本田さんと話をしていると語学力等の認知能力はもちろんですが、非常に高い自己肯定感、留まることを知らない旺盛な好奇心やコミュニケーション能力の強さを感じました。卓越した非認知能力の持ち主だということです。グローバルスクールに通う子供たちも、彼のような自分を信じられる強い心を持つ人間に育て欲しいと切に願っています。

今回はこのあたりで終わりにします。

SCHEDULE

【世田谷校】10月の主な予定

- 10月2日(木) 金融
- 10月6日(月) 農業実習
- 10月22日(月) 金融

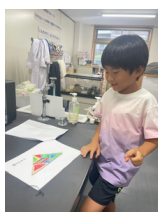
自然科学

今月はタングラム。

タングラムとは正方形を7つのピースに切り分けたものを使って、様々な形を作るシルエットパズルです。

みんな、形を回しながら頭を使っています。

図形感覚の向上
想像力・発想力の育成
集中力の向上
達成感の獲得
を学びます。



秋の遠足ムーミンパークへ



随時、体験会を実施しております。
お気軽にお問合わせください。
TEL:03-5942-1830

【有明校】10月の主な予定

- 10月6日(月) 金融
- 10月20日(月) 農業実習
- 10月27日(月) 金融

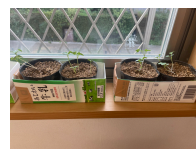
農業実習

9月に入ってもまだ暑さは和らぐ気配もない中で上級生は畝づくりに挑戦!

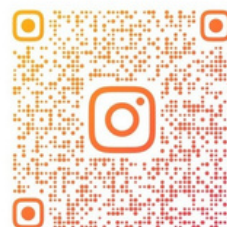
声を掛け合いながら土に向き合う姿は頼もしいです。

恐竜や鳥の話題も飛び出し過去から未来へと想像が繋がっていく時間になりました。

1年生は赤大根とスティックセニョールの種を蒔きました。



バディグローバルスクールHP



@BUDDY.GLOBAL.SCHOOL